

ワークショップ（みんなトイレ案内誘導サイン等の確認）

2024年2月29日

1. トイレの案内誘導サインなどの確認

機能を分散したトイレにスムーズにたどり着くにはどんな案内サインが必要か、どうすれば利用したいトイレにスムーズにたどり着けるか、などを3班に分かれてディスカッションし、班ごとに発表しました。

また、実物大の図面を床に敷いて、案内誘導サイン、トイレの空き表示の位置や並び方や通路・入口の幅などを確認しました。

実際に並んでみると、案内表示だけではなく、当事者の困りごとを知ってもらうことや、みんなトイレのコンセプトをしっかりと伝えることが大切だと気づきました。そうすれば、トイレの列に並んだ人がお互いにゆずり合いながら、声掛けの輪が広がるのではという意見で一致しました。そこで、トイレの入り口にコンセプトボードを設置できるか事務局で検討することになりました。



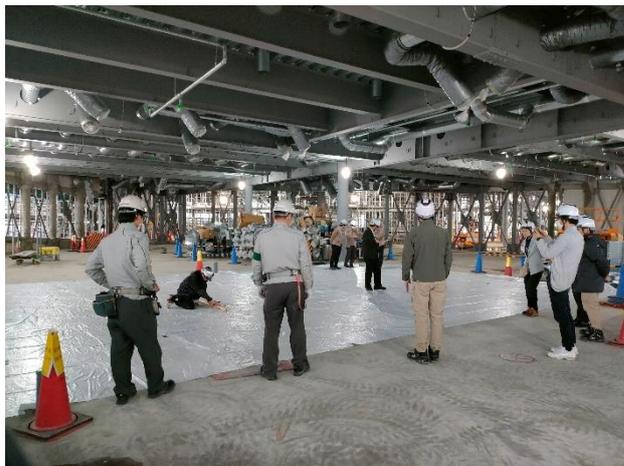
写真①: みんなでディスカッション



写真②: みんなでディスカッション

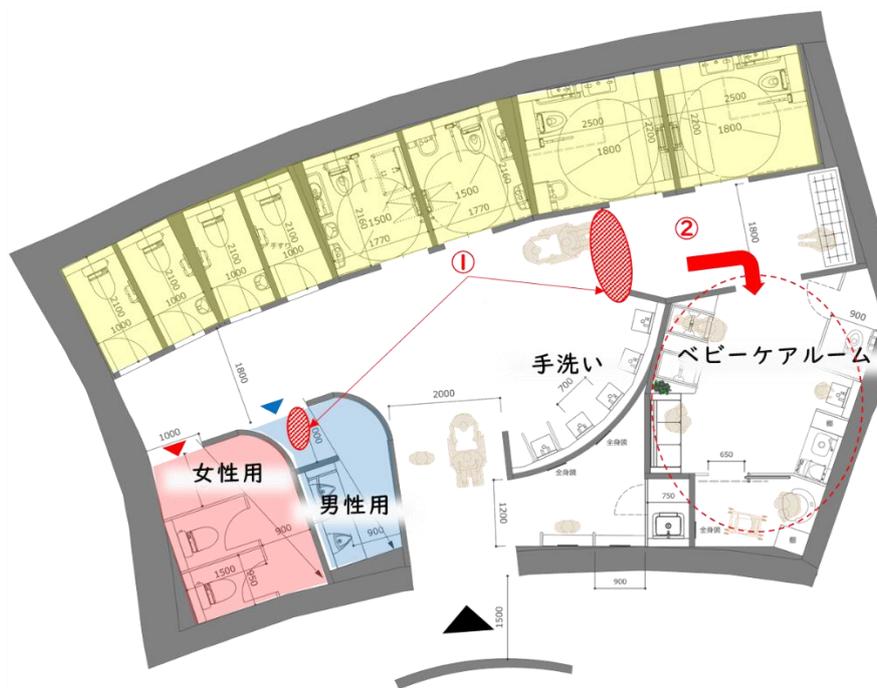


写真③: 原寸大図面で並び方を確認



写真④: 工事現場で原寸大図面作成

通路の幅や出入口の確認では、入口の幅が狭いところや、車いす同士では通路の幅が狭くすれ違いがしにくいところがあることがわかりました。また、ベビーケアルームの入口が、トイレの出入り口から遠く、使いにくいことがわかりました。



写真⑤:原寸大図面で通路の幅を確認

2. トイレの名前

事前に UD 推進チームのメンバーから寄せられた 25 案の名称をお伝えしたうえで、グループワークでも各班ごとに、トイレの名称について考えました。各班から発表のあった名称は全部で 11 案となりました！事務局で、合計 36 案の中からトイレの名称を絞って決定していくこととなりました。

3. カームダウン・クールダウンルームの仕様(個別WS)の報告

令和5年(2023年)11月30日(木)に開催したワークショップで決定した、カームダウン・クールダウンルームの床のカーペット、壁や天井の仕上げの色、設置する設備の内容や位置について報告しました。